

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
5	下田 良秀（5）	<p>1. 新型コロナウイルス感染症に対応した結婚、出産、子育てにおける富士市の取組について</p> <p>現在、世界中で新型コロナウイルス感染症が蔓延する事態となり、地球規模での問題となっている。</p> <p>我が国においては、感染者の多くは首都圏や特定の地域で発生しており、緊急事態宣言が解除されたものの、第2波、第3波の襲来も予想されている。さらに地方自治体においても一部の地域で感染が発生しており、油断できない状況となっている。</p> <p>富士市においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の様々な施策がなされており、4月18日に7例目の感染者が確認された以降、新たな感染者が出ていないことから、拡大防止に成功している（6月11日現在）。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大を受け、産業や経済、医療など様々な分野に影響が出ているが、市長が掲げる富士市の最上位課題である少子化にも関係する結婚、出産、子育てにも大きな影響を与えている。</p> <p>経済的な影響から結婚に対する不安が大きくなる、結婚式の予定変更を余儀なくされるカップルがいるなどの問題がある一方で、恋人と交際中の未婚男女を対象に行われたアンケート結果を見ると、「コロナで以前より結婚しなくなった」という回答が7割、他の調査では「コロナの影響で結婚（を決意）した」という回答が3割を超える結果も出ている。</p> <p>また、出産や子育てについては、感染拡大防止が最優先ということで出産を取り扱う医療機関において、立ち会い出産や面会、産前・産後の母親学級等の中止や制限がなされている。</p> <p>そこで県内でも各地の医療機関において、妊産婦の不安解消のため、感染拡大防止の強化とともにオンラインでの面会、立会い、指導、マタニティークラスの開催、動画配信等が検討されている。</p> <p>このような状況を踏まえた上で、富士市としても新しい生活様式の中での取組や、終息後のアフターコロナにおける取組を考えながら進めていく必要がある。</p> <p>そこで以下質問する。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の状況において、ICTの活用を踏まえた上で、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 結婚の状況と今後の取組について</li> <li>(2) 出産の状況と今後の取組について</li> <li>(3) 子育ての状況と今後の取組について</li> </ol>	市長 及び 担当部長